

平成 33 年度（平成 32 年度実施）以降の学士課程入学者選抜試験の
基本方針

平成 30 年 8 月 6 日
東京工業大学

平成 32 年度から大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」（以下「共通テスト」）が実施されることを受け、本学における平成 33 年度（平成 32 年度実施）以降の学士課程入学者選抜試験についての「基本方針」を以下のとおり定めました。

なお、現在「共通テスト」については、詳細が決定されていない部分があるため、具体的な活用策等については引き続き関係機関の動向を見ながら決定し、できる限り早期に予告の公表を行っていきます。

1. 共通テストの取扱いについて

- ・本学における現行の大学入試センター試験の取扱いと同様に、前期・後期日程試験、推薦入試、A0 入試の全受験生に「共通テスト」の 5 教科 7 科目（記述式問題（国語・数学）を含む）を課します。
- ・前期・後期日程試験、A0 入試において、共通テストの成績をもとに第 1 段階選抜を行います。具体的な実施の基準については、今後決定します。
- ・共通テストの枠組みにおいて新たに実施される、英語の「民間の資格・検定 4 技能試験（以下「認定試験」という。）」については、前期・後期日程試験、推薦入試、A0 入試の出願資格として利用します。出願資格としては、CEFR の A2 以上を予定しています。
- ・共通テストの枠組みにおいて新たに実施される、国語の記述式問題の段階別成績表示については、マークシート式の得点に加点して活用します。具体的な加点の方法については、今後決定します。

2. 個別試験（前期日程）

- ・個別試験（前期日程）における各科目の配点は、現行どおり以下のとおりとしますが、英語については、下記の変更があります。
数学 300 点、物理 150 点、化学 150 点、英語 150 点
- ・英語については、筆記試験を課すとともに、「認定試験」の結果を活用します。配点（150 点）の内訳は、筆記試験 120 点、「認定試験」30 点とします。「認定試験」の結果の具体的な加点方法については、今後決定します。
- ・英語の筆記試験の出題内容は、本学入学後に必要な論理的に英文を読み解く力および作文をする力を評価するものとします。